

阿づまの光

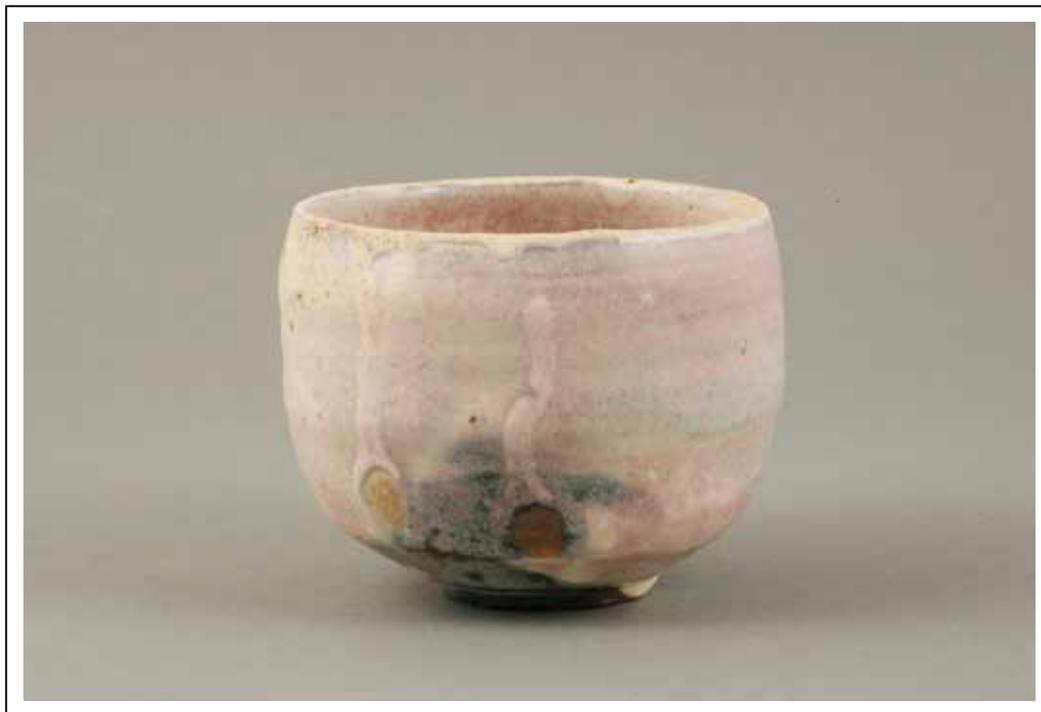
A Z U M A N O H I K A R I



すらすらと自然しぜんにすべてふるまへよ

賢愚けんぐは人ひとにまかしておけよ

【尊師 出口日出磨】



教主さまお作 灰釉茶盃 「あけぼの」

ヨルダン土／灰釉

エスペラントに思いを寄せて

大本総代 宮澤 俊勝

〈ザメンホフ祭〉に参加した折、イーハトボエエスペラント会の代表者の方が『危険な言語 エスペラント弾圧と迫害の歴史』（ウルリッヒ・リンス著、国書刊行会）を取り出し、内容に触れながら参加者の皆さんに購入を勧めておられました。話の中で「エスペラントは弾圧されていた」という言葉もあり、私は気にはなりましたが、本の分厚さと文字の多さに、最後まで読むことができませんでした。

しかし三週間後、別のエスペラントの勉強会で「この本を借りたい方はいませんか？」と、なんと同じ本が紹介されたのです。その時は「まるで」背中を押されたような「感覚がしました。そこで、まだ半分ほどしか読めていませんが、本から感じたことを紹介いたします。

本の著者は、「エスペラント100年の歴史に関する研究に独自の貢献を果たしたい。着目したのが、歴史の中でも長年顧みられることなく、タブー視されてきた側面である。すなわち、政治的・イデオロギー的理由からエスペラントがこうむった反発や迫害である。信奉者たちがたどった運命を描き出したかった」と述べています。この言葉からも、100年にわたるエスペラントへの批判や圧力、運動への障害、エスペランティストへの迫害、拘束、処刑など、反対する国々の行動がいかに激しく厳しいものであったかを、十分すぎるほど感じ取ることができました。

それと同時に、エスペラントが世に現れてからおよそ140年になります。エスペランティストの揺るがない態度や潔い引き際によって、現在でも使われ続けているのではないかと思います。私が以前に聞いた「エスペラントは神さまの与えられた言葉ですよ」という言葉の意味を思い出す機会にもなりました。

——本物は残る。その思いを胸に、これからもエスペラントでの短い挨拶や会話が楽しめるようになっていきたいと思えます。



3月の東光苑月次祭

春季合同慰霊祭を執行

3月の東光苑月次祭・交通安全祈願祭並びに春季合同慰霊祭は3月8日午前10時30分から、齋主・橋本伸作東京宣教センター長のもと執行され、230人が参拝した^①写真。

祭員は埼玉主会が、少年祭員は、高野こはるさん(埼玉)。伶人は二絃の会関東支部、大本神論拝読は渡辺明東京主会長が担当。東光庵では、添釜がかけられ、東京主会が担当した。

祭典後、橋本センター長があいさつ。引き続き、愛善講演会が行われ、藤原直哉(株)あえるば会長が「信仰所感」と題して講話を行った。藤原講師は講話で、今の世界は立直しの真っ最中であると、「大本神論」と「霊界物語」からその実情を解説したほか、「これから



先はお金も力も頼りにならない。まことの神さまのお力でなければ、この世を前に進めることはできない」と述べ、宗教の本質が問われている重要な時期であることを話した^②写真。

また、午後1時45分より2階講座室で東光苑ミニ講話が行われ、宮下愛善NPO法人人類愛善会インターナショナル理事長による講話「プラントアの極意〜春夏野菜実践ワザ」が行われた^③写真。

また、1階ロビーでは青年部による南米青年訪日交流支援バザー、青松会による日用品バザー、農事組合法人大本が収獲した「チカラ野菜」の販売が、3階ラウンジでは青松会による味噌汁バザーなどが行われた。

東光苑大道場修行を開催

東光苑大道場修行は、2月21日から23日までの3日間、大本東京本部を会場に開催され、一般参加者8人を含む20人が受講した。

受講者は2階講座室で、亀岡・天恩郷での大道場修行4日間の講座「大本の出現」(「大本の使命」まで)を受講したほか、食作法の実習や、「ギャラリー」のおもて東光苑でのお作品拝観なども行った。

東光苑オンライン講座 5月25日(月) 19:00~

ようこそ大道場修行へ

講師：西山 桂一郎 (東京宣教センター・愛善宣教課長)



「大道場修行」は、大本の聖地、亀岡市・天恩郷、綾部市・梅松苑の両地で4泊5日の日程で開催されています。

講座や礼拝、清掃などさまざまな体験を通して、大本の教えに触れ、また、規則正しい生活を送る中で、自分を見つめなおす中で新たな発見があります。今回は、「大道場修行」を紹介します。

大本東京本部ホームページをご覧ください！

5月 東光苑祭典・行事予定

4日(祝・月) 午前10時30分

教主古希慶祝 教主生誕祭
三代教主・教主補聖誕祭

5日(祝・火) 午前10時30分

開教134年みろく大祭遥拝祭

10日(日) 午前10時30分

東光苑月次祭・市杵島姫命例祭

23日(土)〜24日(日)

正体山60周年記念祭典参拝ツアー

25日(月) 午後7時

東光苑オンライン講座(配信)

講師 ようこそ大道場修行へ
西山 桂一郎
(東京宣教センター・愛善宣教課長)

東光苑 葬祭研修会

〜ご葬儀までの準備と大本葬祭式の司会執行〜

日程 6月28日(土) 午前9時(受付)〜午後4時

会場 大本東京本部・東光苑

内容 講話「葬儀執行の流れ」「斎場調度品について」
実習・招魂式、発葬式、霊璽の作り方

参加費 500円 ※食事代は別途350円を徴収

資料代 500円(霊祭部刊「葬祭式編」をお持ちの方はご持参ください)

持ち物 笏(お持ちでない場合はお貸しします)

『大本祭式』の本、笏を挟める帯やひも、足袋(履く方が動作が容易)動きやすい服装、筆記用具

申込 氏名・所属・食事・宿泊・資料の要否を記の上、下記までお申し込みください

東京宣教センター祭務課

Mail k-siino@oomoto.or.jp【担当・椎野】

Tel 03-3821-3701 Fax 03-3821-5283

締切 6月21日(日)